



2020年度スタート



校長 野口祐人

先行き不透明な中、2020年度、西中は、生徒数1学年5クラス170名、2学年5クラス166名、3学年4クラス157名、けやきひのき学級3クラス12名、合計505名でスタートします。しかしながら、昨年度は、3月に突然の休校があり、現在は、緊急事態宣言がなされている状況です。先が見えない中なので、5月7日の学校再開に向けて、今できることを考え、今できることに力を注いでいるところですが、7日に学校再開できるのかどうか、学校が再開されても通常の教育活動が行えるのかどうかなど、今のところ全くわかりません。HPにもアップしたように、特に1学期については、当初の予定を大幅に変更しての活動となると思いますし、年間を通じて様々な計画の変更があるものと思っています。予定変更等については、適宜連絡しますが、生徒の皆さんにも、例年以上に柔軟な対応をお願いすることがあるでしょう。当たり前の生活ができなくなってはじめて当たり前のありがたさがわかるということもあります。きっと、皆さんも今、そんなことを感じていると思います。この困難な状況の中、少しでもポジティブに物事を捉え、普段とはまた違った視点で物事を考える機会にできればとも思います。いずれにしても、自他の健康を第一に考え、不要不急の外出を避けるなど、新型コロナウイルス感染拡大防止の行動をお願いします。新型コロナとの闘いに、皆で一緒に向かっていければと思います。

さて、本年度、西中では以下のようないくつかの新たな挑戦を考えています。通常の教育活動が実施できず、予定変更もあるかもしれませんが、よろしくお願いします。

1 単元テストと再チャレンジテストの実施（定期テストは廃止）

「わからないものをわかるようにする」という学習本来の目的を達成するために、単元ごとにこまめにチェックを行います。自分自身の理解度を確かなものにしてください。さらに、ほぼ同じ問題の再チャレンジテスト実施によって成績アップの機会を確保します。（再チャレンジテストで点数が上がれば、そちらを成績評定の材料とするので、どんどんチャレンジしてください。）

なお、各学年、学力テスト（いわゆる実力テスト）を年数回実施します。その結果によって全体の中での自分の位置等を知る機会としてください。

2 生活記録ノートをスケジュール帳形式のものに変更

自分の生活を自分で管理する能力を養ってください。

3 ノーチャイムの実施

自ら時計を見て行動できるように、学校生活の中で、チャイムが鳴る回数を最小限とします。今のところ、チャイムを鳴らすのは、出席確認時と昼休みの予鈴、完全下校時刻の3回とする予定です。）

4 善泉賞（校内善行賞）の継続

本校校歌の歌詞にある「善循環基地の泉とならむ」のように、誰かのために何かができる、そんな思いやりのある行動を称える「善泉賞」です。そんな行動に出会ったら、ぜひ、推薦をお願いします。生徒、保護者、教員、地域の方など、推薦者は誰でもOKです。たくさんの推薦をお待ちしています。昨年は6月から始めて、発行が500枚を超えました。今年は、600枚以上の発行を目標とします。

保護者の皆様、本年度はこのような状況の中でのスタートとなってしまいましたが、昨年度同様、学校の教育活動に対しましてご理解ご協力をいただければ幸いです。本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。